



SONY COMPUTER ENTERTAINMENT INC.

1997年3月21日

プレイステーション増産 5月以降月産150万台体制に

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントは、全世界にわたって好調な販売実績に対応し、家庭用ゲーム機プレイステーションの月産規模を100万台に引き上げて生産出荷を続けてまいりました。しかし、その後もプレイステーションに対する需要は全世界にわたって引き続き急速な拡大を続けており、日本国内では昨年末以来、プレイステーションの品切れ状態が継続して生じており、多くのお客様にお待ちいただいております。

欧米市場においても、クリスマス時期以降も販売が大変好調に推移しており、現地在庫も日本同様品薄状況にあります。この中において欧米にて3月より希望小売価格の引き下げを実施し、更に新しい需要層への普及を加速しております。また当社は、香港、シンガポール、タイ、マレーシアにおいても、昨年12月よりプレイステーションの販売を開始しております。

当社は、このように全世界で好調に拡大を続けている需要に対応し、プレイステーションの更なる増産に向けて準備を鋭意続けてきた結果、この度、更なる量産体制を確立いたしました。今回の生産規模の拡大は、現在の月産100万台から、4月度135万台を経て、5月以降月産150万台体制とするものです。この生産は、従来からのソニー木更津(株)とソニー美濃加茂(株)を中心としたソニーの国内製造拠点で行い、その生産能力を大幅に増強いたします。また、月産150万台のうち、月産約10万台を今年夏よりメキシコにあるソニーの工場に展開いたします。

なお、プレイステーションの全世界向け生産出荷累計は、3月19日までに1300万台に達しております。

以 上